

## 4 親支援事業

### 施策の目指す姿

子どもとの関わり方に悩みある母親を対象に、具体的な子どもとの接し方を学ぶグループ活動を通して、親子の成長を支援していくことにより、健全な関わりを持てるようになります。

### 《取組内容（H29～H33）》

育児不安が強く支援の必要な保護者や、軽度の虐待をしている保護者を支援するため、2グループ（プアマナ、フルール）を実施する。  
子どもとの関わり方に悩む保護者を対象として、子どもとの効果的な関わり方のスキルを学ぶ全7回のグループ（ペアレントトレーニング）の実施。  
ただし、グループの状況をみながら、グループ運営については、調査研究して運営方法等の見直し。

区分	H29	H30	H31	H32	H33
目標		プアマナ、フルール、ペアレントトレーニングを参加状況を鑑みながら、H29年度の実施回数維持し、定期的に実施。			
実績	たっちは ・プアマナ 23回 ・フルール 23回 ・ペアトレ 7回 回数 延人数 51人 80人 39人				

### 《平成29年度の取組に対する評価》

評価	コメント
3	H28年度はプアマナが64人、フルールが74人、ペアトレが35人の参加であった。プアマナ以外は参加者の延べ人数が増加している。プアマナとフルールのグループの差がなくなってきた。また、ペアトレは継続性のものであるため、1回休むと補講という形で対応している。補講の回数も増えている状況がある。平日の午前中に実施しているため、働いている保護者が参加しにくいことや、参加が必要な保護者につながらない現状がある。また、グループだけの支援では困難で、グループ+個別相談+育児支援家庭訪問等複数の支援が必要なケースが増えている。

### 評価基準

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 0：事業に着手することができなかった。             | 2：やや変更はあったが概ね目標を達成することできた。 |
| 1：大幅な変更や遅れがあり、目標を達成することができなかった。 | 3：目標を達成することができた。           |
|                                 | 4：目標を超える成果を得ることができた。       |

### 《今後の展開》

プアマナ、フルールの参加者の状況を適格に把握したうえで運営方法も含め、効果的なグループ運営を検討する。

### 《その他意見等》